



すべての子どもが 輝いている 滋賀をめざして

滋賀県いじめ防止基本方針案による、いじめは社会の構造と深く関わり、大変奥の深い複雑な構造の中にある問題であり、子どものいじめの背景にある、人間関係・関係性の病理と捉えている。いろんな子どもがいること、その子どもたちをすべて受け止めてくれる保育士や教職員がいること、いろんな子どもを包摂する制度があることが重要だ。その中で、子どもは学習をし、人間関係を磨けると思う。私は、陰湿ないじめを未然に防ぎ、すべての子どもが可能性に輝いているような滋賀をめざして質問をしました。

Q 子どもは、自分自身や、周りの子どもや大人などをどう見ているか、またどう見られたいと努力しているだろうか。子どもからみたいじめの背景を解きほぐすために、これからどのような考えのもとで対策を進めていけるのか。

A **知事** いじめは、事件や出来事ではなく、お互いの人間関係から生じる関係性の病理です。また「個性重視」という一方で、「同質性への過剰同調」を求める社会状況が、子どもたちの社会に反映され、いじめの背景になっています。川西子どもオンブズマンを中心に、子どもの声を聴く力をつけられる大人を育てるために力をいれてきました。

Q 35人以下学級を小学校四年生までで拡充された知事の思いを伺う。
A **知事** 小学校一年生から三年生までの少人数学級編成で培った基本的習慣や学習習慣をもとに、四年生でも、教員が子どもと向き合う時間を確保しながら、きめ細やかな対応と、子どもへの支援を行うことで高学年の着実な学習に結び付けられるように、現場の先生方の踏ん張りを支援します。



質問をする 沢田議員

滋賀県いじめ防止基本方針案による、いじめは社会の構造と深く関わり、大変奥の深い複雑な構造の中にある問題であり、子どものいじめの背景にある、人間関係・関係性の病理と捉えている。いろんな子どもがいること、その子どもたちをすべて受け止めてくれる保育士や教職員がいること、いろんな子どもを包摂する制度があることが重要だ。その中で、子どもは学習をし、人間関係を磨けると思う。私は、陰湿ないじめを未然に防ぎ、すべての子どもが可能性に輝いているような滋賀をめざして質問をしました。

Q 知事はあらゆる災害に備えて命を失うことがないように、正しく知って正しくおそれ、一人ひとりが備えておくことの大切さを訴えておられる。どんな災害も生命を奪われる危険性ははらんでいるが、発災後も長期にわたってどのような被害をもたらすか、未解明の部分を残しているのが原子力災害である。子どもたちの将来にわたって健康で生き続けられる環境を維持できるように、原子力災害時における放射線対策の現状について、伺う。

A **知事** 3.11の経験で、放射性物質が人と自然の関係の中に入り込んで来るときの扱い方の難しさを学びました。結果的には、放射性物質への「おそれ」の違いが、人間関係にまでヒビを入れてしまうことも学びました。特に子どもの放射線被ばくを避けるために正確な情報伝達が不可欠です。



Q いじめがなく、どの子どもも目を輝かせていける毎日にするために、教育の不易の部分は何か、伺う。
A **教育長** いじめの問題を根本的に理解しながら、子どもたち自身の力でいじめ問題を解決できるように支援をしております。そのために、豊かな人間関係を築き、人を思いやる心を育てることや、自分と他者の人権をともに尊重すること。自ら主体的に考え、行動する力を育てることも、自らを律し、他者と協調できることも重要です。すべての子どもたちにとって、居心地の良い学級や学校になるよう取り組みます。

びわ湖TVデータ放送で
滋賀県内各地の放射線量を
確認することが出来ます



県議会 控室へ、気軽にお越しください。
直通電話 077-528-4051

会派調査

1/30
~31
福井県へ



福井県立恐竜博物館

この施設は、平成21年に教育委員会から観光営業部へと移管されました。海外からの集客も視野に入れた企画営業、メディア協働、実物標本に拘った研究員のネットワーク体制など、発信と努力を重ね全国的に知名度の高い博物館へと成長を遂げられています。

滋賀県立琵琶湖博物館のリニューアルを控え、より集客力の高い魅力ある施設のあり方について大変参考になりました。



ファースト ウッド(株)

集成材を中心に、福井県産材や高品質な国産材、輸入材の仕入れや、各地で切り出された原木を製材し、全国各地へ販売されています。

我国の木材市場の動向、又、当会社と滋賀県との流通状況、人員の確保、国の制度の状況について伺いました。



福井県庁

①「北陸新幹線に関する取り組み」について

福井県は、北陸新幹線金沢開業に向け、「福井県新高速交通ネットワーク活用対策プラン」を策定し、観光地のレベルアップ、二次アクセスの充実、誘客プロモーションの強化など、積極的に取り組まれています。本県の新幹線計画への貴重な学びを得ました。

②「学力向上に向けた取り組み」について

学力・体力とも毎年上位に位置する福井県の教育は、子ども達の基本的な生活習慣がしっかり確立されている風土の中で、「丁寧な教育」を教育の「スローガン」の下で行われています。昨年の「全国学力・学習状況調査」で全国最下位層にランクされた本県教育の改善に向けて様々なヒントを頂きました。

③「平成30年福井国体に向けた取り組み」について

福井国体に向けて、開催会場の選定・整備、選手の強化・育成について伺いました。平成36年に控えた滋賀国体を前に、本県が取り組むべき、施設整備、競技力向上に向けた取り組みに関して大変参考になりました。



県議会議事堂内の食堂にて(社会福祉法人が運営)



2/5

滋賀県警察 科学捜査研究所へ

科捜研では、犯罪の手がかりとなる証拠を鑑定・分析し、事件解決へと結びつけるための捜査が行われています。近年の犯罪手口の高度化・多様化に対応するため、研究員のスキルアップ、第一線の捜査本部間との連携体制、早期犯罪解決に向けた鑑定体制、最新の捜査技術について伺いました。

